

子どもの心の畑に種を蒔く☆家族で絵本を楽しむ☆

～知育編～

◆ 講座の概要

1 絵本の力

（「読み聞かせ」の良いところ、効力）

- ・「読み聞かせ」をするということは、本を選んだ人（親）の価値観が絵本を通じて子どもに伝わることです。
- ・良質な内容の絵本は子どもの読書体験を深め、限りある体験をさらに広げ、子どもに生きる力も授けてくれます。
- ・絵本は子どもにたくさんの言葉を覚えさせ使うことができるようにしてくれるとともに、考える力も身につけさせてくれます。
- ・テレビやビデオなどのメディアの音声をただ一方的に流すこととは違い、子どもの感情や表情（反応）を見ながら読むことができます。（ライブの良さ）
- ・聞く側だけでなく読む側も癒されます。



2 絵本の選び方（ポイント）

- ・きちんとした日本語と言葉の美しさを兼ね備えた良質なものを選びましょう。
- ・絵本には「主食絵本」（人間として生きるのに大事なことを伝える本）と「おやつ絵本」（放っておいても子どもが手を出す本）があります。子どもの成長のためにはどちらも大切なのでバランスよく選びましょう。
- ・否定的な言葉があまり出てこないものを選びましょう。
- ・20年以上増刷が繰り返し行われている「長生き絵本」を選びましょう。



3 子どもの発達に合わせた対応 （絵本の選び方など・・・）

- ◆ **0歳から1歳前半**⇒絵本は『おもちゃ』の一つと考えましょう。大好きな周りの大人（お父さん、お母さん、おじいちゃんおばあちゃんなど）を通してたっぷりと言葉を聴く喜びを知っていく時期です。同じ絵本をゆっくりと繰り返し読んであげるといいでしょう。わらべ歌や子守唄と同じ効果があります。また、**写真絵本**ではなくそのものだけがきちんと描かれた**認識絵本**を選びましょう。写真は他のもの（例えば窓や籠など）を背景に映しこんでしまうため、大小関係ははっきりしますが、そのもの自体を認識することが難しいからです。

《写真絵本》



《認識絵本》

りんご



- ◆ **1歳後半から2歳前**⇒言葉を聴く楽しさを知るものから簡単なストーリーのある物語絵本や生活絵本を読んであげましょう。
- ◆ **2歳**⇒子どもの日常生活に密着したものを選んでみましょう。
- ◆ **3歳**⇒言葉に対する力が発達してくる時期なので、簡単な物語や繰り返しのある昔話絵本などがおすすめです。耳から聞こえてくる物語の言葉やリズムと目で見える絵の描き方や場面のすすみ方が一致しているものを選びましょう。
- ◆ **4歳・5歳**⇒読み聞かせ黄金期です。あらゆるジャンルのものに興味をもつ時期です。また、好みもハッキリしてきますので、子どもの好みを大切にしながらも幅広い選択をしましょう。
- ◆ **6歳から9歳**⇒絵本（絵がないと成り立たないもの）と絵がなくても成り立つ読み物（童話などの活字本への移行期です。この頃になると挿絵がなくても物語が理解できるようになってはきますが、最初は目で活字を追うことに一生懸命になりがちなので、少し難しい内容の本は「読み聞かせ」をして耳から言葉を入れてあげると良いでしょう。
- ◆ **10歳頃（小学校3、4年生）**⇒読書（活字）の世界へ一人旅をする出発点です。この時期に一人で活字の世界を楽しめるようになるために、それまではしっかり「読み聞かせ」をして活字の世界の面白さを子どもに伝えておきましょう。そうすると一人読みへの移行がよりスムーズになります。

4



原田先生からのメッセージ

- 家族で同じ本を読み、感想を言いあう「家読」というものがあります。これは家族でコミュニケーションをはかるきっかけになりますので機会があれば試みてみられてはいかがでしょうか。
- ある大学病院の先生の実験で「読み聞かせ」をしている時のお母さんの前頭前野が活発になり脳の活性化に役立つことが判明しました。これは読み手が読んであげる相手のことを考え、上手く伝えようとするなどといった、読んでいる時の気持ちが脳に良い影響を与えているようです。
- 絵本の読み聞かせをすることを義務に感じないようにしましょう。
何よりも読み手が「元気に楽しく、呑気に根気よく」絵本を楽しみましょう。





受講生の皆様から
いただいた貴重な
ご意見の一部です！



Thank you

- ♥ 原田先生のお話がとても分かりやすく、あっという間に時間が過ぎていきました。絵本のすばらしさを改めて認識いたしました。心の栄養はとても大切ですね。なかなか、日々の生活に追われて自分自身も最近本を読んでいませんが、時間をつくって本の親しみたいと思います。
- ♥ 絵本の読み聞かせをしたいが、どうしたら良いか考えている時期でしたので、今回の講座を大変、楽しみにしておりました。「子どものために・・・」と思っておりましたが、まずは自分（読み手）が楽しみながら読む事が大事なんだと知り、気が楽になったように思います。まずは、子どもとのコミュニケーションを取る事を前提に楽しく続けられたらと思います。
- ♥ 絵本を通じて親子の関わり大切さを知ることができました。「元気に、呑気に、楽しく、根気よく」ととても良い言葉だなと思いました。これを機会に今日の事を参考にしながら絵本を楽しんでいきたいなと思います。
- ♥ とても楽しく温かいお話をありがとうございました。最近、体調が優れずゆっくりと本を読む時間をとっていなかったのが反省しました。今晚から少しずつでも時間をとってゆっくり向き合いたいです。現在、子どもは1歳10か月ですが、早くひらがなを覚えたら、読み聞かせをしなくてよくなるのかなと思っていたので、今日のお話をお伺いして考え直しました。良い機会を与えていただきありがとうございます。最後にご紹介いただいた『ちょっとだけ』（絵本）。少しだけの紹介でしたが、感動しました。
- ♥ いろいろな本を子どもの成長に合わせて紹介いただき、とても参考になりました。
- ♥ 今度小学校にあがる息子の読書（読み聞かせ、自分で読む）をどうしていけば良いか迷っていたのですが、今日のお話でどうすれば良いか凄く分かりました。
- ♥ 読み聞かせをしていて、どんな本を選んだら良いか悩んでいましたが、参考図書を示して下さったので助かりました。これからも「読み聞かせ」を続けていこうと思います。